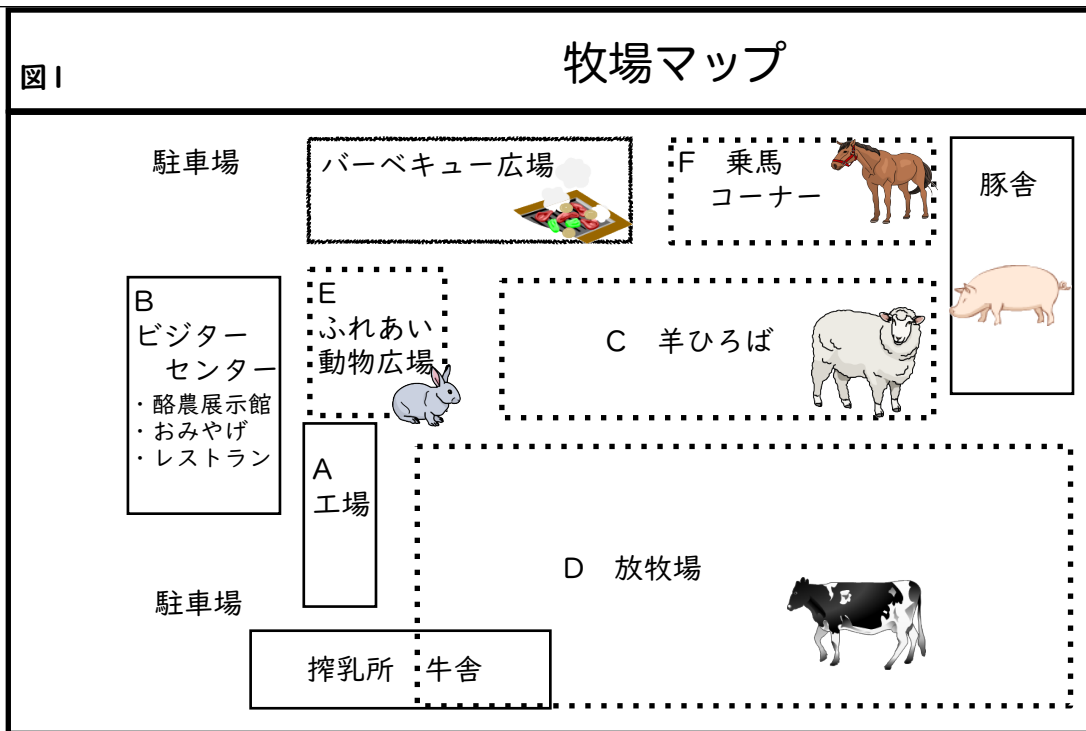


太郎君の学校は、校外学習で牧場を訪れました。班ごとの自由行動の時間について、先生が説明しています。

先生の説明

- 図1の「牧場マップ」にある、A～Fの施設で見学や体験活動をしてもらいます。
- 9：00から施設の見学や体験活動を開始して、15：30には駐車場に集合してください。A～Fの施設をすべてまわるようにしましょう。
- 施設から次の施設までの移動時間は、5分間とってください。
- 昼食休憩は、バーベキューひろばで1時間とります。



見学・体験活動時間	施設	主な活動
9：00～10：05	A 工場	工場見学・工場で働く人へのインタビューなど
10：10～11：25	B ビジターセンター	酪農展示館の調べ学習など
11：30～11：55	C 羊ひろば	毛刈り見学など
12：00～13：00	バーベキュー広場	昼食休憩
13：05～13：55	D 放牧場	牛舎の見学や乳牛の飼育について
14：00～14：45	E ふれあい動物広場	うさぎや山羊などのえさやり
14：50～15：25	F 乗馬コーナー	乗馬体験など
15：30	駐車場	集合

[問題1] 太郎君のグループは、当日、表1の行動計画表をもとにグループ行動をしようとしたところ、A「工場」が混雑していたため、予定を変更して、13:05から見学することにしました。

そこで、施設の見学や体験活動でとった時間や移動の時間、活動内容は変えずに、見学の順番だけを入れ替えることにしました。

解答欄の空欄を埋め、行動計画表を完成させなさい。

[解答欄]

自由行動計画表	
見学・体験活動時間	施設
9:00~	B ビジターセンター
~	
~	
~	バーベキュー広場
13:05~	A 工場
~	
~	
15:30	駐車場

[問題1]

各施設の所要時間を整理すると、

A (工場) 65分

B (ビジターセンター) 75分

C (羊広場) 25分

D (放牧場) 55分

E (ふれあい動物広場) 45分

F (乗馬コーナー) 35分

となっています。

元の行動計画表では午前がA+B+C (165分+移動15分) 午後がD+E+F (135分+移動15分) でしたから、午後にAを移すとき、Aと同じ時間の施設はないのでそのままでは時間がずれてしまいます。

そこで、A+C (90分) を午後に移し、D+F (90分) を午前に移して時間のずれをなくします。

よって午前がBのあとにDとF、午後がAのあとにCとEへ回るように行動計画を作ると、以下のような解答が作れます。

自由行動計画表	
見学・体験活動時間	施設
9:00~10:15	B ビジターセンター
10:20~10:55/11:15	F 乗馬コーナー/D 放牧場
11:00/11:20~11:55	D 放牧場 /F 乗馬コーナー
12:00~13:00	バーベキュー広場
13:05~14:05	A 工場
14:10~14:35/14:55	C 羊ひろば / E ふれあい動物広場
14:40/15:00~15:25	E ふれあい動物広場/ C 羊ひろば
15:30	駐車場